

V. 子ども委員会からの提案（資料編）

資料編目次

- (1) 札幌の子どもにとって大切な権利 ……………21
- 子どもにとって大切な権利の全項目（p. 21）
 - 第3回、第4回子ども委員会での議事結果概要（p. 30）
- (2) 子どもの権利侵害からの救済 ……………46
- 子どもの権利侵害からの救済について考えた項目（p. 46）
 - 第6回、第7回子ども委員会での議事結果概要（p. 48）

(1) 札幌の子どもにとって大切な権利

資料編では、私たちが提案したすべての権利の115項目（p. 21）と、第3回、第4回子ども委員会でのグループディスカッションの内容（p. 30）を紹介します。

■子どもにとって大切な権利の全項目

<テーマ①. 一人ひとりが自分らしく生きるために大切な権利は何だろう？> 24項目

1. 子どもが人間として大切にされる権利

子どもがひとりの人間として大切にされることは、自分らしく生きるための基本になり、自分自身も大切に出来ると思うから。（中学生）

2. 自分を大切にすること

将来にも関係するから。（中学生）

3. 子どもが独立する権利

独立と聞くと一歩はみ出るという感じがします。しかしそうではなく、独立とは一歩前に出る事だと思います。あまり良い例ではありませんが、町内会の班長をしていると、ある寄付を集めることがあります。ぼくは子どもなので集めには行きませんが、まず班長が200円と書くと、その後の人は皆200円と書きます。そうすると、次の班長が500円と書きました。また面白いことに、皆500円と書きました。これが人間の普通の考えだと思います。こうではなく、僕は、私は、1,000円ですよ、うちは600円出すよと、自分の考えを出す。人に左右されず、自分らしさを出す。これが本当の独立ではないかと思います。（高校生）

4. 自分自身を考える時間を与えられる権利

まず、自分らしさを知ることこそが自分らしく生きていくための一歩だと思います。人は一人ひとり違う自分らしさを持っているので、自分らしさを知るためには、自分自身で考えることが大切だと思います。（小学生）

5. 子ども一人ひとりが自由に意見を表明できる権利

自分らしく生きるためには、人の意見で物事を左右されずに自分の意見で物事・生活などを行えばいい。（小学生）

6. 子どもが自分のペースで生きられる権利

人についていくよりも自分のペースで進んでいくことが大切。（小学生）

7. 子どもがやることを認める権利

大人は何でも「ダメ」の一言で片付けてしまって、やることを認めてはくれない。だから、子どもがしたいと思ったことに対して「いいよ」と言ってあげること。（小学生）

8. 親が子どもを束ねない権利

親は子どものすることを何でも決め付けて、自由にやりたいこともできないから。（小学生）

9. 一人一人の個性を大事にする権利

個性があるということは、自分らしく生きているという証拠。だから、個性を大事にする＝自分らしく生きることが出来る、ということだと思う。（中学生）

10. 子どもが自分の意見を持ち自分で考え行動できる権利

大人に言われたことだけではなく、自分の思ったように行動することは自分らしく生きることにつながると思うから。(中学生)

11. 比べ合わない

比べてほしくない、比べられたくない(子どもの権利条約の2条とも関係)。(中学生)

12. 自分らしくのびのびと育つこと

大人に決め付けられていても、大きくなったら一人で決めないといけなくなるから、今から、自分で決めることが大切。(小学生)

13. 子どもが自分の意見を言う権利

自分らしさにもつながるし、自分の気持ちを伝えるには意見を言うことが大事だから。(小学生)

14. 時と場合に応じて、子どもが自分らしく活動する権利

TPOに応じて、意見を発表したり、感情を表したり、個性を出せる権利。(中学生)

15. 自由に個性を表現できる権利

自分が好きな時に自分の個性を邪魔されずに表現できる権利。(中学生)

16. 自分の意志を表現できる権利

参加するのも、自分の意志が必要だから、自分の意志を表現できる権利。(中学生)

17. 子ども(一人ひとり)の個性を大切にできる権利

子ども一人ひとりの個性を大切に、みんな違う権利。(小学生)

18. 子どもが自分のペースで生きる権利

みんな同じペースで生きると個性がなくなってしまうと思うから。ただし、約束事は守らなければならない。(小学生)

19. 一人の人間として認められる権利

子どもも一人の人間であり、自分の意見・考えをもって認められる権利。(小学生)

20. 子どもが、自身のことを周りに認めてもらえる権利

「自分らしさ」は外に出るものだから、自分が内から見ることは少ないと思う。だから自分ではない、外から自分を見る人、つまり周りの人に自分の「自分らしさ」は見える訳だから、自分のことを周りに認めてもらえる、理解してもらえれば、自分らしく生きられると思う。(中学生)

21. 自分らしく生きる権利

精神的に自分にあった環境で生きていける権利。のびのびと、自分のペースで、個性や他人との違い(障がい等)を認められ、一人の人として尊重されること。(中学生)

22. 子どもが尊重される権利

一人ひとりが自分らしく生きていくには、「自信をもつ」ことが大切だと考えます。自信をもてるようになるには、周りから認められるということではないでしょうか。(中学生)

23. 個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること

型にはまらず、自分の個性をどんどん出し、その違いを認められ、一人の人間として尊重されること。(中学生)

24. 子どもが秘密を持つ権利

たとえ大人（親・先生）にでも、ばらしたくなければ、言わずに心の中にしまっても良い、という権利。（中学生）

<テーマ②. 成長していくために大切な権利は何だろう？> 38 項目

1. 教育を自由に受けられる権利

「お金がないからあの学校はダメ」など、経済的な理由に影響されず、公立でも私立でも自由に学校を選ぶことができる権利。（小学生）

2. 好きなことについて学べる権利

自分が興味を持ったことを身のまわりのものを存分に使って調べることができる権利。（小学生）

3. 教育をしてもらう権利

「教育」とは、環境や親からのしつけ、勉強など知識を学ぶことです。自分は、人間が成長していくためには経験と知識、行動が大切だと思います。知識と経験は教育により身につくのだと思いますが、何よりも行動をしないと無意味だと思います。（小学生）

4. 子どもが自分一人では生きていけないことを知る権利

子ども（人間）は一人では生きていけない。だれかの支え、はげましがあって生きていけるから、自分も自分中心で生きているわけではないということ。（小学生）

5. 教育を受ける権利

子どもは社会人になるために知識をえることが必要だし、最近では知識がないとなかなか職業にもつけないと思うから。（中学生）

6. 学校へ通う権利

ただ教育を受けるだけでは知識しか増えないから、学校での集団生活から学べることも、将来生きる力になると思うから。（中学生）

7. 未来をつくれる権利

遊び、学び、表現して、これからは役立つ経験を積んでいける権利。また、それを理解してもらえる権利。（中学生）

8. 元気に遊べる権利

自分が小さい時あまり外で遊ばなかったのを悔やんでいるので、猿みたいに遊ぶことが大事だなと思います。（高校生）

9. 子どもが幸せに暮らせる権利

子どもが毎日を楽しく過ごし、幸せに暮らせる権利。（小学生）

10. 子どもが遊べる権利

たくさん遊ばないと体力がつかないから。でも、やることをやってからのほうが良いと思います。（小学生）

11. 疲れたときは休むことができる権利

生きている中で（特に子ども）、ずっと働いたり考えたりしていたらストレスがたまって、生きる自信がなくなる。（小学生）

12. 疲れたときは休むことができる権利

疲れたときは、ゆっくり休み明日に備えること。（中学生）

13. 子どもが自分自身の考えで友達を作ることが出来る権利

子どもが成長していくうえで一緒に遊んだり泣いたり笑ったりできる友達はかかせないものだから、自分の考えで友達を作ることも成長していくために必要なことだと思うから。(中学生)

14. サプリメント！

現代のちびっこも忙しくて不規則でマックが大好きだから、これからは必要！(高校生)

15. 「衣食住」があるちゃんとした環境に住む権利

生きていくために最低限必要な「衣食住」を得ることが保障される権利。(小学生)

16. 規律を整えること

子どもにとっては不自由と感ずても、規則正しい生活は成長の上で最も重要。(中学生)

17. 安全な食を得られる権利

体の健康を維持して生きるためには、食事が基礎だと思うから。(中学生)

18. リズム良い生活を送る権利

正しい生活リズムで友人と共に生きていく権利。(中学生)

19. 自分で自分のことを決められる権利

自分のことは他人に決められず自分で決められる権利。(小学生)

20. 責任を持つ権利

頼ったり決められるのではなく、子どもだって自分で物事を決断したいときがある。そんなときは、自分で責任を持って決めることができる権利。(中学生)

21. 学校を選べる権利

出会いと、学びの場である学校の選択が正しければ、色々なことが楽しくなって自分らしくいられると思う。(高校生)

22. 生活環境を選べる権利

自分の良い場所を伸ばしたり、好きなことをするために、こんな権利があったらなと思いました。(高校生)

23. 子どものことを決めるのは最終的には子どもが決めることのできる権利

自分らしく生きるためには、自分のやりたいことをちゃんとやるのが大切。でも、だからと言って、親が子どもに何もしないというわけではない。親は子どもに情報を与えればいい。そして、子どもがやりたいと思ったらやらせればいい。(中学生)

24. 子どもは将来進む道を自分で決め、学ぶことができ、それを邪魔されない権利

進む道が危険でない限り、大人はその道を子どもから奪うことができなく、子どもはその権利を主張できる権利。(中学生)

25. 目標を持つことができる権利

目標を持てればがんばることができる。たとえくじけても、簡単にはあきらめないと思う。というよりは、あきらめられないと思う。そういう目標を親は持たせてあげるためにも、いろいろなことを教えたりしてあげれば良い。そして、子どもの目標を達成できるように、全力で支えてあげるのも親の仕事の一つだと思う。(中学生)

26. 自由に意見を言って、自分のやりたいことを自分で決めることができること

自分の思ったことを言って自分の考えたようにやりたいことを決めることができる。(中学生)

27. 遊んだり勉強したりする場所を選ぶことができる権利

自分で遊ぶ場所や勉強できる場所を選ぶことができることは、とてもいいことだと思う。そのためには、周りの考えが多様化すること、子どもが選ぶことが、よいこととして認められるような環境になることが大事だと思う。(高校生)

28. やりたいことに挑戦していいし、その結果失敗してもやり直すことができること

自分で「これに挑戦しよう!」と考え、失敗しても「次はこうしてみよう」とやり直せる。(小学生)

29. 自分で自由に夢をもつ権利

自分で人に指示されずに自由な夢をもち、それに向けて努力できる権利。(小学生)

30. 子どもが経験をする権利

子どもがやりたいと言っているものを、親は「ダメ」と言ってやらせてくれないことがあるから、どんなことも経験することが大切なので、やりたいと思うことをやらせてあげること。(小学生)

31. 子どもが自信を持って行動できる権利

何事も自信を持ってチャレンジできれば、のびのびと成長していくことができる。(小学生)

32. やり直す権利

失敗が人の命に関わらない限り許され、やり直し学べる権利。(中学生)

33. 将来の夢をもって成長していける権利

夢をもって、何かにチャレンジできる。もしも失敗したとしても、休み、また自信をもってチャレンジしなおせる権利。また、それをサポートしてもらえる権利。(中学生)

34. たくさんのことを経験できる権利

経験しないと成長できないことがたくさんあるので、たくさんのことを経験してもいい、という権利。(中学生)

35. 子どもを認める権利

今、子どもは表現が足りないと言われているが、その理由の一つに「失敗したらどうしよう」という恐れがあると思う。やり直すことを認めることにより、のびのびと自分の意志を発表し、伝えていけると思う。大人が、意見を発表しやすい環境づくりを。(中学生)

36. 自分らしくのびのびと育つこと

絵が好きなので、絵を描くことが自分らしさ。(中学生)

37. 豊かな自然で、みんなと遊んだり、のんびりできること

豊かな自然のあるまちで過ごせば、ストレスなどで病気になることもないと思った。(小学生)

38. 誰からも愛されて、安全で安心して心地よい環境の中で暮らせること

心地よい環境のためには、自然環境も大事だと思う。排気ガスで空気が汚染されているような環境では、健康に生きていくこともできなくなる。(小学生)

<テーマ③. 安全で安心して、健康に生きていくために大切な権利は何だろう? >33 項目

1. 一人ひとりが大切に育てられ、命が守られる権利

一人ひとりの個性と生命が保障されること。(小学生)

2. 健康な状態を保つために最善をつくしてくれる権利

病気やかぜにならないように、インフルエンザ予防接種など、かぜ又は病気を予防できることはしてくれること。(小学生)

3. 防犯対策など、安全な権利

最近では犯罪が多いので。(小学生)

4. 命が守られる権利

何よりも一番大切なのは命だから。世界を見ると、中には子どもが戦争に駆りだされていることもあるので。(小学生)

5. 命が守られること

一人では生きていけない。赤ちゃんは親がいないとダメ。子どもにも親が必要。社会で生きていて、それがはじめて分かる。(小学生)

6. 誰からも愛され、安全で安心して心地よい環境の中で暮らせること

一人では生きていけない。赤ちゃんは親がいないとダメ。子どもにも親が必要。社会で生きていて、それがはじめて分かる。(小学生)

7. 守られる権利

不審者などにおそわれたときに大人に守られたり、子どもでは対処できないときに助けられる権利。(小学生)

8. 子どもの権利が尊重される権利

子どもの権利には、守られる権利、安全な食を持てる権利などがあるので、権利が尊重されれば、安全で安心して健康に生きていけると思います。けれどもその代わりに、同等の義務があると思います。(小学生)

9. 安全な環境が整うこと

クリーンな環境や不審者のでない校区、安全な食を持てることを総合した権利。(小学生)

10. 子どもが事件・事故に合わず安心して暮らせる権利

地域の人が協力して不審者などのパトロールを行ってくれる。(小学生)

11. 安全で安心して生きていける権利

安全で安心して生きていけると、落ち着いた気分になれるから。(小学生)

12. 子どもの安全が守られる権利

命は大切なものだから、その命が危険な状況にあれば安心して健康には生きていけないと思うから。(中学生)

13. 生きる権利

危険なときは大人に命を守ってもらう権利。(中学生)

14. 安心できる権利

安全な場所で、心豊かに暮らす権利。(中学生)

15. 大人に守られる権利

子ども一人だけではどうやっても安全になれない場合もあるので、大人にしっかりと守られる権利。(中学生)

16. 家庭にある程度の余裕を持つことのできる権利

家庭が生活で精一杯になっていたら、ちゃんとした物をたくさん食べられるとは思えない。それに、親が働いたりして、いない所が多い。そんな家庭で、安全や安心など言っていられない。なので、子どもが何人いるかや、子どもは何をしているかなどによって、その家庭にお金をあげれば良いと思う。そうすれば、生活に必死になることなんてないと思う。(中学生)

17. 虐待をされたり暴力をふるわれたりせず、命が守られること

虐待されずに、人に守られ、命が大切にされること。(中学生)

18. 子どもが生かされる権利

子どもにかかわらず、大人にも言えることだと思います。ただ生きているのではなく、自分が社会に必要とされている、生かされていると感じることが成長へとつながっていくことだと思います。また、生きていく上では、命が第一です。命とは生存するもとなる力となるものです。なので、命があって、疲れることが出来る、働くことができる、遊ぶことができるなど、いろいろな事を通して成長することができると思います。(高校生)

19. 子どもが保護される権利

子どもとは、18歳未満の事というしており、やはり子どものうちは親の保護があることで、安全で健康に生きていけると思います。(高校生)

20. 親が愛情をもって接してくれる権利

親の愛情は子どもの何よりの宝だから。(小学生)

21. 子どもが愛される権利

愛することは子どもにやさしくしたり、子どもがまちがったことをしていたらやさしく教えてくれることだと思います。まわりの人が子どもを愛してあげると、子どもも人を愛せるから。(小学生)

22. 子どもが大人を頼る権利

子どもたちだけで何かをしようとするのではなく、周りの大人が支えて、育てていくのだから、安心して生きていくために、「大人」が必要だということ。(小学生)

23. 人を信じる権利

信じることを守る権利。(中学生)

24. 子どもが大人に大切にしてもらう権利

言葉や肉体的な暴力から守られ、適切なしつけを受け、健康の保障される環境に置いてもらえる権利。(中学生)

25. イジメから守られる権利

イジメから守られるということは、「いつイジメを受けるんだろう」とビクビクしながら成長しないで、仲の良い友達と楽しく過ごすことが保障されること。(小学生)

26. 子どもが守られる権利

子どもが「安心」して生きるためには、必要不可欠なことです。また、いじめなどがなければ、「安全」になります。これらのことは、「大人が子どもを見守る」ことが重要です。子どもも、それがわかれば安心できます。(中学生)

27. 障がいのある子どもと、仲間として遊ぶこと

障がいがある子どもとみんなで遊べば、差別がなくなると思ったから。(小学生)

28. 子どもに与えられている権利を正しく知ること

自分や、その他の子どもが持っている権利を正確に知ること、他人の権利を侵していないかどうか知ることできる。
(中学生)

29. 子どもが成長を見守られ話を聞いてもらえる権利

自分を見守り何かあったときに助けてくれる存在、自分ひとりでは判断がつかないときや、自分が思ったことを伝えられる存在が必要だと思うから。(中学生)

30. 子どもが気軽に相談できる権利

子どもがいつも苦しいことにしばられつづけるのではなく、誰かに相談すれば気が楽になれるから。(小学生)

31. 子どもが、周りの人に相談できる権利

登校拒否の子どもや、いじめられている子ども、いじめてしまっている子どもなど、どの子どもでもなかなか表に言えない悩みを持っていると思うから、何か相談しやすくなる環境が欲しいと思う(=安心)。(中学生)

32. 悩みを誰かに相談できること

学校の先生などにもっと気軽に相談しやすくする。安心して相談できる環境づくり。(中学生)

33. いつも笑顔でいることができる権利

悩みができたらずぐ友だちや親に相談して、いつも悩みを隠さないで笑顔でいることが大切だと思うから。悩みを解決してくれる人がいることが大切。(小学生)

<テーマ④. 意見を表明したり、参加するために必要なことは何だろう?> 20項目

1. 子どもにとって大切な環境

子どもが自分の思っていることを表明したり参加しやすい環境をつくるのが大切だと思います。しかし、どこでも子どもにとって良い環境があっては子どもは成長しないと思います。これではただの贅沢になりかねません。ぼくは寮生活をしていますが、はっきり言ってよい環境ではありません。でも、この苦勞を辛抱し卒業するときには、きっと大きな自分のパワーになっていることと信じ、毎日励んでいます。これらの良い環境、悪い環境すべてを合わせて子どもにとって大切な環境だと思います。(高校生)

2. 子どもの意見を聞く権利

例えば、子ども用の「目安箱」を置いて、その意見に大人がきちんと回答するなど、子どもの意見に確実に大人が接することができる仕組みをつくることで保障される権利。(小学生)

3. 意見を持ち発表する権利

個人の意見は尊重され、発表しても何も言われない権利。(中学生)

4. 考え、伝える権利

学んで、考えて、伝える。未来をつくるためにも必要な「発言」を認める権利。(中学生)

5. 子どもが自由に表現する権利

まずは、自由に表現できる環境づくりが大切だと思います。(中学生)

6. お互いの個性を尊重する権利

自分を押し通すだけでなく、相手の意見も聞く相互の関係をつくれる権利があれば素敵だなと思った。(高校生)

7. 自分の意見を自由に言い、表現することができ、表明した意見は尊重されること

発表するとき、自信が必要。尊重されなかったら、自信がなくなる。(小学生)

8. 一人ひとりの意見が尊重される権利

一人ひとりの意見が尊重されなければ、意見を表明しても参加していることにはならないし、かといって一人の意見が尊重されても周りの人が参加できなくなると思う。(小学生)

9. 子どもが自由に意見を言い、尊重される権利

子ども一人ひとりが自由に意見をいい、その意見が尊重されること。(小学生)

10. 表明した意見をバカにされたりしない権利

せっかく表明したのにあざ笑うようでは、表明した人に失礼だから。(小学生)

11. 子どもが、自分の意見を聞いてもらえる権利

自分の意見を伝えようとしても、相手が耳を傾けてくれなくて、その意見が対象とされなかったら困るから。聞いてもらえれば、もしその意見があまり良いものでもなくとも「こうだからダメ」と理由も言ってくれると思う。(中学生)

12. 表明した意見は尊重される権利

自分の意見が軽く受け止められただけで尊重されなければ、参加することもできなくなってしまうから。(中学生)

13. 子どもの意見が尊重される権利

意見が無視されるということはひとりの人間として受け止められていないことだと思うから。(中学生)

14. 子どもが意見を持てる権利

子どもであるというだけで意見が否定されることなく、大人に聞いてもらえる権利。(小学生)

15. 意見が受け入れられる権利

自分がやりたいと思ったことを、ただダメと言われても納得ができないから。大人から説明を受ける権利が子どもにはあって、大人は子どもに説明する義務があると思う。(高校生)

16. メディア等から情報を好きなように取り入れる権利

子どもでも、知りたいニュースなどがあるから。新聞やテレビなど、「子どもは分からないから」と言わないでほしい。(小学生)

17. 子どもがいる場では、子どもがちゃんとと言えるふんいきを作る権利

子どもは簡単に、意見を言ったりすることが出来ない人が多い。そんな人にわけのわからない言葉を使ったりしている中で、意見を言ってくれ、なんてとうてい無理。簡単なことを簡単に言うのは簡単。でも、難しいことを簡単に言うのは難しい。でも、そういう事をできる人がいないと、子どもには、何か言えるはずがない。(中学生)

18. 友だちや親と意見をかわし、意見を分かり合うこと

他の人の意見をいれることで、自分の意見も分かってくれるから。(小学生)

19. 様々な活動に積極的に参加する権利

ボランティア活動などに、子どもが参加しやすいようPRなどを行う。(中学生)

20. 自分とは違う子どもと自由に接することのできる権利

同じ学校の友だち、他学年、障がい者、様々な人々と接して、互いの違いを見つけることができる。(小学生)

■第3回、第4回子ども委員会での議事結果概要

Aグループ

<テーマ①. 一人ひとりが自分らしく生きるために必要なことは何だろう？>

【大切だと思うこと】自分らしくのびのびと育つこと

(理由) ほかの人と同じ生き方ではなく、自分の個性を大切にしたいため。

(理由) 自分自身を貫き通すことが大切だと思うため。

◇意見交換の主な内容

- ・自分のやりたいことは、人に決められるのではなく、自分の意思でやる必要がある。
- ・自分が楽しいと思うことは、自分の意思でやると、より楽しくなる。
- ・卒業式のときに、「語り合い」の練習で、「先生方に言われてやるのではなく、自分たちがやりたいと思ったことをどんどんやりなさい」と言われた。自分で思ったことは、どんどんやるべきだと感じた。
- ・「自分らしく」もいいけど、「ほどほどに」するのも大切だと思う。
- ・自分のことばかり考えて、人のことを考えなくなったら、「我がまま」になってしまうと思う。
- ・自分で責任が取れなくなったり、人に迷惑をかけるようになったら、「我がまま」だと思う。
- ・相手のことを考えると、自分も我慢をしなければならない。我慢と辛抱も大切だと思う。
- ・「自分らしく生きる」っていうことは、人のことを考えながら、自分のことを貫く、ということではないか。
- ・親が言うことは、全部自分のためだと思う。言われておかしいな、と思うことはあっても、話を合わせている。
- ・自分から見ると、自分らしく生きていると思うけど、他人から見たら違うかもしれない。
- ・自分が我慢をしたいのであれば、我慢するのも自分らしいと言えるのではないか。

【大切だと思うこと】自分のペースで生きること

(理由) 人のペースに巻き込まれないで、自分でやりたいことは自分でやればよいと思うため。

◇意見交換の主な内容

- ・期限が決められているものを、自分のペースとってのんびりやることは、許されない。
- ・環境が色々変わるから、学校内では、なかなか自分のペースにはならない。
- ・体に負担がかかるときに、自分のペースが乱されていると感じる。
- ・自分のペースでやることと、決まっているものをやらなければならないことは、意味が違う。
- ・自分のペースというのは、自分で感じるものであって、人にあわせることにはならない。

【大切だと思うこと】個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること

(理由) 自分らしく生きるためには、単に自分がそうするだけではなく、他人の協力も必要となる。

また、そのためにも、一人の人間として尊重されることが大切だと思うため。

◇意見交換の主な内容

- ・尊重されているというのは、自分が大事にされているかどうか、理解されているかどうか、ということだと思う。
- ・親には理解されていると思うけど、親にしか理解されていないかもしれない。
- ・あまり、自分の個性を理解されたい、とは思わない。
- ・自分が尊重されているかどうかは、分からない。

【大切だと思うこと】自分が思ったこと、感じたことを素直に表現できること

(理由) 自分の意思をしっかりと持ち、意見を言うことで、自分らしさが出てくると思うため。

◇意見交換の主な内容

- ・「自分らしくのびのびと育つこと」のときに出ていた、「自分を貫き通す」というのと同じだと思う。
- ・言いたいことを相手に伝える、ということが必要だと思う。
- ・あまり言いたくないこともある。場合によっては言いたいことはあるけど、7対3であまり言いたくない。

【大切だと思うこと】障がいのある子どもが一人の人間として自分の力で積極的に人と関わりあうこと

(理由) 障がいのある子どもを含めて、子どもはみんな、頼るばかりではなく、自分にできることは自分ですべきだと思うため。

◇意見交換の主な内容

- ・障がいのある子が成長して、自立してほしい、という願いがある。
- ・自分のクラスにいる障がいのある子は、まわりの友だちが「こうやって言うんだよ。」と接していたら、自分から話ができるようになった。
- ・自分のクラスにいる障がいのある子は、できるだけ身のまわりのことは自分でやりたい様子。

<テーマ②. 成長していくために必要なことは何だろう? >

【大切だと思うこと】将来の職業選択について学ぶことができること

(理由) 自分の将来の職業について学ぶ機会があると、自分の道が見えてくるし、人の生きがいも理解できるようになると思うため。

(理由) 自分が将来なる仕事を学ぶと、そのためにやる気が出てくると思うため。

◇意見交換の主な内容

- ・職業体験を中学校でやったが、自分で行く場所を選んで、やりたい職業について知ることができ、大変よかった。
- ・学校では、インターネットを通して、いろいろ仕事について調べている。
- ・職業体験は「ため」になるけど、なりたい職業というよりは、知りたい職業という意味合いが強い。
- ・職業体験をしたいところでも、忙しいからといって断られることがある。

【大切だと思うこと】疲れたときは休むことができること

(理由) いつも気をはってばかりではなく、休むときは思いっきり休むことが大切だと思うため。

◇意見交換の主な内容

- ・自分の学校では、メリハリを大切にするというのが目標で、休んでいいときは、みんなしっかり休んでいる。
- ・やるときはやる、というように、同じ休むのでも、メリハリをつけるのが大事。
- ・休むのではなく、疲れたときに頑張ることも、成長できると思うので、大事ではないか。
- ・生徒会をやっているとなかなか休めなくて、塾や習い事が重なるとちょっと辛いこともある。

【大切だと思うこと】 やりたいことに挑戦していいし、その結果失敗してもやり直すことができること

(理由) 1回失敗しても、もう1度やればできるかもしれないから。

(理由) 自分を貫く、ということになると思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・失敗して、もう一度それに挑戦できる場合は、とがめられないでほしい。
- ・失敗は成功のもとなので。
- ・自分に与えられた義務を果たしたうえで、やり直すことが認められると思う。
- ・努力をしたうえで、失敗してもやり直せるのではないか。
- ・成功するために努力があるのだから、失敗するような努力は意味がないと思う。
- ・いっぱい努力しても、失敗することはある。その努力は認めてほしい。
- ・コンクールや受験などの場面では、そうもいかない。

【大切だと思うこと】 人と人がばらばらに生きているのではなく、「互いに関わりあい、ともに生きていること」を学ぶこと

(理由) 自分一人では生きていけないことを、全員が知っておいた方がいいと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・親があつての子どもだから、当然、一人では生きていけないと思う。
- ・親がいなければ何もできない。子どもは守られるべきだと思う。
- ・自分らしく生きるためにも、自分が成長するためにも、自分以外の人の協力は必要だし、人との係わり合いは、欠かせないと思う。
- ・人と合わせることも大事だけど、人にあまり合わせすぎないで、自分がやりたいことをやって、自分らしく生きていくことも大切だと思う。

<テーマ③. 安全で安心して、健康に生きていくために必要なことは何だろう? >

【大切だと思うこと】 安心して生きること

(理由) 自分たちが守られるという意味もあるし、学校の登下校時にパトロールなどを行ってくれることで、安心できるということが大切だと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・不審者に襲われたことがある。友だちと一緒に逃げて無事だったが、とても怖かった。
- ・近くで銀行強盗が起きて、学校から集団で下校したこともあった。
- ・不審者が出たあとの対応も大事だと思う。自分の学校では、そういう情報が少しでも入ると、学校から連絡があったり、次の日に、そのことについて注意するようにというお便りが出されたりする。
- ・これからもっと、不審者への対応についての対策を充実すると安心できる。

【大切だと思うこと】誰からも愛されて、安全で安心して心地よい環境のなかで暮らせること
(理由) 子どもとして守られることが第一で、心地よい環境でなければ体を壊すことにもなるから。

◇意見交換の主な内容

- ・一人一人により、心地よい環境という考え方は違うと思う。
- ・(友だちなどから)無視されないことが、心地よい環境につながると思う。
- ・心地よい環境のためには、自然環境も大事だと思う。排気ガスで空気が汚染されているような環境では、健康に生きていくこともできなくなってしまう。
- ・自然は大切だと思う。木がいっぱいのところで散歩すると、とてもリラックスできる。
- ・豊かな自然をつくるような(社会の)仕組みが大事だと思う。

【大切だと思うこと】いじめ、体罰から守られること

(理由) 実際にいじめられたときに、友だちや先生に助けってもらって、安心した経験があるから。

◇意見交換の主な内容

- ・いじめの定義が難しい。冗談だと思ってやっても、冗談には受け取ってもらえないことがある。
- ・やっている本人がいじめているつもりはないと思っても、その相手が嫌な気持ちになったのであれば、それはいじめになると思う。
- ・いじめから守られるには、親友(話のできる友だち)が必要だと思う。相談にものってくれるし、先生のところへ相談に行くときも手伝ってくれるので。
- ・体罰はダメだけど、理由を言って、しかってくれることは、自分たちにとっては必要だと思う。
- ・体罰については、親が(子どもがされたということ)で過剰反応をしていることもあるかもしれない。

【大切だと思うこと】安全な食を持てること

(理由) 生きていくためには安全な食がとても大切だから。

◇意見交換の主な内容

- ・食べ物(野菜など)の中には、農薬などを使って栽培しているというの聞いたことがあるので、怖い。
- ・有機栽培の食べ物がいいと思う。
- ・給食のとき、アレルギーの子どものために、その子どもたち用の給食を出して欲しいな、と思う。小麦粉のアレルギーだと、パンも麺類も食べられないので。
- ・その場合、学校の(お金の面での)負担も大きいので、アレルギーの子の場合は、自分でお弁当を持参できるようにするとういと思う。

【大切だと思うこと】規則正しいリズムで日常生活を送ること

(理由) 大人の生活にあわせるのではなく、子どもにとっての正しいリズムで生活を送ることが大切だと思うし、それが体の健康や成長につながるから。

<テーマ④. 意見を表明したり、参加するために必要なことは何だろう? >

【大切だと思うこと】自分で自分のことを決めることができること

(理由) 自分のことは自分が一番分かっているし、他人から言われて行動するよりも、自分が意見を言って行動するほうが、自分のためになると思うから。

(理由) 大人、特に親の言いなりになっては、自分のためにならないと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・親の言うことは、必ずしもいいことばかりではないと思う。親が、自分のためにいいと思ってやらせていることでも、子どもにとっては、時間が割かれて嫌だということもある。
- ・子どものうちは、自分ひとりで生きていくことはできないので、親の言うことがとても大切だと思う。成人を迎えるまでは、親の言うことは(自分にとって)大切な言葉だと思って聞いておいたほうがいいと思う。
- ・親の言っていることは、子どもを思っていることだと思う。親があってこそ子どもだと思う。そういう意味では、親の言うことをきちんと聞かないとダメだと思う。
- ・親に保護されることも大事だけど、過剰保護されるのは嫌だ。自由も少し欲しい。

【大切だと思うこと】自分の意見を自由に言い、表現することができ、表明した意見は尊重されること

(理由) 尊重されなければ表明しても意味がないし、参加しようとしても、尊重されなければ参加することもできないので。

◇意見交換の主な内容

- ・せっかく意見を言っても、分かってもらえないと意味がない。
- ・意見を言っても、むやみにダメと言われることがある。一度意見が尊重されてから、それに対して言ってほしい。
- ・子どもにとって、なぜ自分の言っていることがダメなのかを理解することが大事。
- ・意見のなかで認められないことでも、ダメな理由を言ってもらえないとすっきりしないし、次の意見を言うにも、どこがダメだか分からないと、どうすればいいか分からなくなる。
- ・子ども同士だと分かりあえることはあるけど、大人だと分かってもらえないこともある。
- ・誰にも分かってもらえないと、参加することにもつながらない。
- ・学校の中では、友だち同士で年も同じなので、考え方も似ていて、分かってもらえることが多いけど、家の中では分かってもらえないこともある。
- ・大人は子どもを怒るときには、理由が分かるように怒ってほしい。ちゃんと理由を言ってくれば、子どもも怒られることに納得できると思う。

【大切だと思うこと】自分の意見を持つこと

(理由) 自分らしさにもつながるし、自分の気持ちを伝えるためには、意見を持つことが大事だから。

◇意見交換の主な内容

- ・自分の意見を持つだけでなく、発表できることがとても大事。
- ・聞いてもらえることが大事。自分の意見を聞いてもらえれば、相手にも伝わるがあると思う。

Bグループ

<テーマ①. 一人ひとりが自分らしく生きるために必要なことは何だろう?>

【大切だと思うこと】個性や他人との違いを認められて一人の人間として尊重される。

(理由) 自分らしく生きるためには、他人と違う自分の個性が尊重されることが大切だから。

(理由) 自分らしく生きるためには差別や仲間はずれがないことが必要だから。

◇意見交換の主な内容

- ・アイデンティティを大切にしないといけない。
- ・学習発表会でやった劇では、みんなのセリフの長さを同じにすることになっていて、個性がなかった。
- ・個性を発揮するという事は、劇で主役をやったりするという意味ではなく、台本を書いたり裏方で支えたりすることも含め一人ひとりがそれぞれの役割で活躍できることだと思う。
- ・子どもがやりたいことを、子どもに任せてもらえれば個性を出せる。
- ・やりたいことだからといって何でも子どもに任せられる訳ではない。

【大切だと思うこと】障がいのある子どもが一人の人間として自分の力で積極的に人と関わりあっていくこと。

(理由) 障がいのある子どもに対して、友だちという意識を持つために必要なことだから。

◇意見交換の主な内容

- ・障がいのある子どもを特別扱いして他の人と区別すると、自分たちとは違うと感じるようになってしまう。
- ・障がいがあっても同じ友だちという意識を持てるようにしたい。

【大切だと思うこと】自分らしくのびのび育つこと。

(理由) 自分らしさを出さないと、本来の自分を失ってしまうことになるから。

(理由) のびのびしている時が自分らしいと思うから。

(理由) いつも緊張しているとカチンコチンになってしまうから。

◇意見交換の主な内容

- ・本来元気な人も、のびのび出来なければ元気がなくなってしまう。
- ・絵が好きなので、絵を描くことが自分らしさ。
- ・たまにはリラックスが必要。
- ・自分らしくないものが何か分からない。

【大切だと思うこと】自分のペースで生きること。

(理由) みんな同じペースで生きると個性がなくなってしまうから。

◇意見交換の主な内容

- ・制服も個性を出さないようにしているものだと思う。

【大切だと思うこと】 かけがえのない存在として育まれること。

(理由) 人が死んでしまったら悲しいから。

(理由) みんなに信用され愛されるということだから。

◇意見交換の主な内容

- ・みんなに愛されるということは、自分も人を愛さなければならない。

<テーマ②. 成長していくために必要なことは何だろう? >

【大切だと思うこと】 自分にある権利を正しく学び、知ることができること

(理由) 自分が持っている権利を知ると、その権利が侵害されたときに相談ができるし、自分に自信を持つことができるから。

◇意見交換の主な内容

- ・権利を正しく学ぶと、他人の権利をもし侵害した場合でも、気づくことができると思う。
- ・自分にある権利を正しく学ぶことで、大人になったときに、子どもたちが住みやすいような地域をつくるのではないかと思う。
- ・権利を正しく学ぶことで、相手の権利も知ることができる。

【大切だと思うこと】 疲れたときはやすむことができること

(理由) 子どものうちは疲れたら休んでゆっくり寝て、規則正しい生活をするのが大切だと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・学校から遠く、毎日3キロくらいの荷物を持っていかなければならず、辛いこともある。
- ・子どもは、大人に備えるために学校に行っているのだから、疲れたら休むことが大事だと思う。

【大切だと思うこと】 遊ぶこと

(理由) 成長するためには学ぶことが大切で、遊ぶことは友情を学ぶことなので。

◇意見交換の主な内容

- ・友情を学んで、成長していくのがいいと思う。
- ・ひとりで遊んでいても面白くない。友だちいっぱい遊んだほうが楽しい。
- ・学校に行っている時間が、遊んでいる時間みたいに感じている。学校にいるときが一番楽しいから。
- ・放課後に学校で遊ぶことはないけど、公園などで遊ぼうと思えば遊べる。
- ・学校が楽しくないと辛いと思う。

【大切だと思うこと】親や家庭の事情に関わらず、子どもが教育を受けることを妨げられないこと
(理由) 学校に行くのは当たり前のことだから。

◇意見交換の主な内容

- ・親や家庭の事情でまわりで変な目でみられる場合がある。いじめも、親のせいで起こる場合がある。
- ・親に頼らないで、自分の力で生きていきたい。頼りすぎないほうがいいと思う。
- ・親のせいで差別やいじめが起こるのはよくない。
- ・親や家庭の事情は、子どもが何か言っても、一気に変わるものではない。
- ・自分でできることは、自分でやった方がいいとは思う。

【大切だと思うこと】将来の職業選択について学ぶことができること

(理由) 好きな職業について学ぶことは、職業を選ぶための備えになると思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・学校の先生は、勉強を教えてくれるけど、生き方を教えてくれる人でもあると思う。
- ・今の職業選択には、自由はあるかもしれないけど、何についても試験がついてまわる。

【大切だと思うこと】やりたいことに挑戦していいし、その結果失敗してもやり直すことができること

(理由) 失敗を恐れていると挑戦することができなくなってしまい、自己表現ができなくなるから。

◇意見交換の主な内容

- ・子どもは自己表現力が落ちていると言われているが、その原因は失敗を恐れているというのが一番大きいと思う。
- ・失敗を怖がらないこと、失敗してもしょうがないと思えること、が大事。
- ・一度失敗したときにもう1回挑戦できないと、それ以上は自分が伸びないと思う。色々なことに挑戦することは、成長するためにはとても大事だと思う。
- ・就職試験(テレビのアナウンサーなど)で1回しかチャンスがないものもある。どうしてもそこに入りたい場合は、やり直せない。
- ・失敗した場合でも、それは次の何かに活かせると思う。
- ・アナウンサーに失敗したら、ほかのたくさんの仕事に視野を向けるのも、「やり直す」の範囲に入ると思う。別のことに挑戦するのも自分の世界が広がるので、やり直すことを認めるのはとてもいいと思う。

【大切だと思うこと】自信を持つこと

(理由) 自信を持たなくなったら、高い目標が立てられず、将来の夢に向かって進めないから。

◇意見交換の主な内容

- ・子どもが自信を持てるように、大人の人に配慮してもらいたい。大人は、子どもに自信をなくすような行為をするのは止めてほしい。
- ・大人は、「おまえは頭が悪いからムリだ」とは言わないでほしい。自信が失われるような言葉は言わないでほしい。
- ・これこれではできない、というように決め付けないでほしい。
- ・学校で、人前で怒られると、次の時間にその怒られた人は発言できなくなる。それが積み重なると、やりたいことが言えなくなったり、将来の夢を言い出せなくなったりすると思う。

<テーマ③. 安全で安心して、健康に生きていくために必要なことは何だろうか? >

- 【大切だと思うこと】誰からも愛され、安全で、安心して、心地よい環境の中で暮らせること**
(理由) 安心して生きて暮らせることで、自分自身にゆとりが持てて、自身がつくと思うので。
(理由) 安心して色々なことに挑戦できる環境があれば、全力で打ち込めるので。

◇意見交換の主な内容

- ・自分が愛されていれば、色々なことに打ち込めるし、自分が一人の人間として生まれてきてよかったと思う。
- ・人に悪口を言わないことが大切だが、愛されている人は、そんなことは言わないと思う。
- ・きちんと睡眠も、食事もとることが大切だと思う。
- ・何でも話せる人がいると、悩みは解決して、健康に安全に生きていけると思う。
- ・信頼できる人、相談できる人がいれば、イヤなことがあってもストレス発散できるし、何かに挑戦するときも、失敗しても受け止めてくれる人がいると、前へ前へと進むことができる。

【大切だと思うこと】悪口を言われないこと

- (理由) 人の悪口を言うと、相手も傷つくし、自分が気づいたときもとても辛い思いをするので。

◇意見交換の主な内容

- ・相手にとっても自分にとっても、人の嫌がることはしてはいけないと思う。
- ・いじめはもちろんダメだけど、些細なこと、悪口もいけないと思う。こそこそ話もとてもイヤだ。

【大切だと思うこと】虐待から守られること

- (理由) 子どもは小さくて弱いので、命が守られることはとても大切だから。

<テーマ④. 意見を表明したり、参加するために必要なことは何だろうか? >

【大切だと思うこと】自分の意見を持ち参加すること。

- (理由) 自分に意見がないと、会議等に出ても参加できないと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・意見がないと話すことができないので、参加したことになる。
- ・自分の意見がないとつまらない。

【大切だと思うこと】自分の意見を自由に言い、表現することができ、表明した意見は尊重されること。

(理由) 自由に意見を言えないとつらいし、表明した意見が尊重されればさらに良いから。

(理由) 意見を言っても無視されると意味がないので、尊重されることも含めて大切だと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・意見が尊重されるということは、大事にされているということ。
- ・少数意見も尊重する必要があるし、無視するのはよくない。
- ・こういうことが大事と思うのは、自由に意見が言えたり、意見が尊重される環境にないということかもしれない。

【大切だと思うこと】自分で自分のことを決めることができること。

(理由) 自分で決めることによって、がんばることができるから。

(理由) 自分で自分の道を進んで行くことは良いことだから。

◇意見交換の主な内容

- ・他人に決められるのはあやつり人形と同じ。
- ・自分で決めずに人が決めると、適当にやってしまうことがあるのでよくない。

【大切だと思うこと】自分自身に関わることを決めるときは、勝手に決められたりせず、自分も意見を言うなど参加できること

(理由) 自分のことを勝手に人に決められるということは、自分を一人の人間と認めてもらえていないということだから。

(理由) 勝手に人に決められるとやる気がなくなるから。

◇意見交換の主な内容

- ・人に決められると、相手の都合のいいように決められる。
- ・親に無理に塾に行かされている友だちがいて、グチをいったりさぼったりしている。
- ・やらされていると感じると反抗的になるのだと思う。
- ・自分にとってはいやなことでも、親は、自分が子どもから大人に成長した経験を踏まえて必要なことを考えてくれていると思うので、いやというだけでは良くない。
- ・小さいときは親に任せる必要があるけど、自分のことをきちんと考えられる中学生ぐらいの年齢になれば、親は子どもの考えも考慮してほしい。
- ・子どもは、親の考えを聞くべき。親の考えを聞いても納得できなければ、自分の意見で進んでもいいけど、自分の考えでやったことの結果については親のせいにはできない。
- ・本当に嫌なことであれば、親に言えば分かってくれるはず。

Cグループ

<テーマ①. 一人ひとりが自分らしく生きるために必要なことは何だろう？>

【大切だと思うこと】自分のペースで生きること

(理由) 生活習慣を他人にあわせることはよくない。自分は自分らしく生きていくことが大切だと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・他人にあわせることはよくないけれど、時と場合によっては、他人にあわせなければならないときもあると思う。
- ・マイペースでいいときと、ダメなときがあるので、他人への迷惑にならないようにすることが大事。
- ・ルールがある場合は、きちんとそのルールにあわせるべき。マナーを守ることも大事。
- ・学校などでルールが決まっているのは、社会に出たときのためではないか、と思う。
- ・時間などがルールで決まっている場合は、そのルールを守るべきだけど、もし決まっていなければ、自分のペースで生きることが大事だと思う。

【大切だと思うこと】自分がやりたいことをやって、楽しく過ごすこと

(理由) 自分のやりたいことをやれば楽しく生きていけるし、楽しく生きていけば自分らしさが出ると思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・自分がやりたいことを何でもできる訳ではない。あきらめるしかないときもある。
- ・いつでも自分のやりたいことをやるという訳ではなく、時と場合によると思う。自分でやれる、と感じるときは、思っきり自分のやりたいことをやるべき。
- ・勉強でも、「やりたい」と思えて勉強しているときは、勉強していてすごく楽しい。
- ・「何々をやれ」、と言われるより、「自分の好きなようにやっていい」と言われたほうが、頭はよくはたらくと思う。

【大切だと思うこと】自分が思ったことを素直に表現できること

(理由) 自分を表現することが自分らしさにつながると思うので。

◇意見交換の主な内容

- ・自分を表現するためには、どんどんものを言ったほうがいいと思う。
- ・自分の思ったことを言えることも大切だけど、聞いてくれる人がいることも大切だと思う。
- ・もしかして、自分をどんどん表現すると、我がままだと感じられることがあるかもしれない。だけど、そのときは、子どもが理解できるように、「違う」ということをはっきり言ってもらえると、自分を表現するときの考え方も変わってくると思う。
- ・しつこく自分のやりたいことを言わないと、なかなか聞いてもらえない。
- ・相手に、自分のことを分かってもらえないときもあるかもしれない。でも、そのときは分かってもらうまで説明する努力が、子どもの方にも必要だと思う。
- ・社会を色々見て、経験ができると、自分を表現しやすくなると思う。

【大切だと思うこと】個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること

(理由) 一人ひとりの個性や性格、外見が認められて、一人の人間として扱ってもらうことが大切だから。

(理由) 障がいがある子どものことも認めてあげることが必要だと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・子どもというだけで決め付けないで、一人の人間として接して欲しい。
- ・色々な子どもがいる。例えば、いたずらをよくする子でも、いいところはいっぱいあると思うので、そこをちゃんと見て欲しい。
- ・障がいのある子がいて、いじめのようなことがあるから、それはやめるべき。
- ・障がいのある子が、自分から積極的に関わるといことも大切だと思うけど、ほかのみんながちゃんとその子のこと理解したうえで、一緒に関われるようになることが大事だと思う。
- ・時々、大人から、「あの子に近寄っちゃダメ」、と言われることがある。周りからの情報で、影響を受けてしまう。
- ・障がいのことについては、大人のほうから意識改革をすることが大切だと思う。

【大切だと思うこと】他人の個性を見つけること

(理由) 自分らしく生きるためには、まわりの人のことを考えることも大切なので。

◇意見交換の主な内容

- ・権利を考えると大切なのは、自分も権利があるけど、相手にも権利があることだと思う。
- ・自分の意見や個性を押し通すだけでは、社会では通用しないと思うので、自分のことを考えるときには、まず相手の意見や個性をみつけて、考えることが大切だと思う。
- ・自分のことを「分かってもらいたい」と思うこともあるけど、相手のことを「分かってあげたい」と思うことも多い。相手のことをしっかりと理解することも必要。

<テーマ②. 成長していくために必要なことは何だろう? >

【大切だと思うこと】遊ぶこと

(理由) 遊ばないと、体がなまけてしまうから。

◇意見交換の主な内容

- ・遊びのなかで、色々な人と交流して人間性をみつけることが大事だと思う。
- ・家のなかやゲームセンターではなくて、外で遊ぶことが大事。
- ・遊びのなかで勉強することがとても多いと思うし、相手の気持ちや文化も学ぶことができる。
- ・小学校の頃は、勉強は気にしないで、どんどん遊ぶべきだと思う。いっぱい遊ぶ子は、勉強もできるのでは。
- ・思いっきり遊ぶことも大事だけど、疲れたときは休むことも成長するためには必要だと思う。

【大切だと思うこと】将来の職業選択について学ぶことができること

(理由) 将来のことは子どものうちから考えておくことが大切だから。

◇意見交換の主な内容

- ・将来、どのような仕事があるかを学ぶことはとても大切。学ばないと分からないことが多い。
- ・もっと、将来の職業について学べるチャンスがあるとうれしい。
- ・遊ぶことも大事だけど、将来のために知識をつけることも大事だと思う。
- ・前まで分からなかったことでも、色々な本を借りて知識をつけたときには、「成長した」と感じた。
- ・色々なことを知りたい、と思うような好奇心があると、とてもいいと思う。

【大切だと思うこと】やりたいことに挑戦していいし、その結果失敗してもやり直すことができること

(理由) 失敗をしたときに、次は頑張ろうという気持ちを持つことが大切だから。

◇意見交換の主な内容

- ・一度失敗したあと、「この前失敗したからダメ」ということを言われると、子どもの心が閉ざされてしまう。
- ・挑戦してもいいけど、一発勝負のものもある。受験は無理。
- ・他の班での議論のなかで、「失敗したことによって、別の道を発見すること、それもやり直しではないか」というのがあったけど、とてもいい考えだと思う。マイナスに考えるのではなく、失敗したからみえる世界もあると思うので、どんどん色々なことを経験するべきだと思う。

【大切だと思うこと】教育を妨げられないこと

(理由) 成長していくためには、教育が十分ではないと大変なことになるから。

◇意見交換の主な内容

- ・学校は、勉強だけするところではなく、遊びもできるし、友だちもいる。学校に行きたくても行けない、という状態になるのは、絶対に避けるべき。

【大切だと思うこと】将来の夢に向かって生きていくこと

(理由) 何も夢がないと、人間的に成長しないと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・将来の夢に向かって生きていくには、色々なことを知らなければならないと思う。
- ・ただ「何々をやりたい」、って思うだけじゃなく、現実も見ることが必要がある。
- ・夢のために努力することが大事。

【大切だと思うこと】十分な栄養のある食べ物があること

(理由) 子どもは体が大きくなる時期なので、ちゃんとした栄養を取るべきだと思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・成長していくためには、心や感情、体も複雑になる時期なので、栄養はとても大事。
- ・虐待など、何ヶ月もまともにごはんをあげない、というのはやめてほしい。

<テーマ③. 安全で安心して、健康に生きていくために必要なことは何だろう? >

【大切だと思うこと】誰からも愛され、安全で、安心して、心地よい環境の中で暮らせること

(理由) 誰かに愛されると安心だし、環境も大事にしたいから。

(理由) 友だちや親など身近にいる人には特に愛されたほうがいいと思うから。

(理由) 子どもが狙われない、安全な環境の中で暮らすと伸び伸びといい大人になると思うから。

◇意見交換の主な内容

- ・誰かに愛されていないと、生きていく自信がなくなる。
- ・親は、甘えられて友だち感覚で話せて、それでいてしかってくれる立場にいるのが理想。甘えたいときがある。
- ・夕方、不審者がいて襲われそうになったことがある。
- ・権利条例ができて、不審者はいなくならないと思う。
- ・地域の人が協力して、もっとパトロールをしてほしい。16時くらいが一番危ないときに、いてくれない。
- ・地域パトロール隊がほしい。

【大切だと思うこと】いじめ、体罰から守られること

【大切だと思うこと】暴力を振るわれないこと

【大切だと思うこと】虐待から守られること

(理由) いじめは怖いし、体罰で叩かれるのはとてもイヤだから。

(理由) 暴力を振るわれると、心も体も傷つくので。

(理由) 札幌はネグレクトが多いけど、自分の立場でそういうことになったらとても辛いので。

◇意見交換の主な内容

- ・先生や親が、子どもがしてはいけないこと、悪いことを、もっとしっかり教えるべきだと思う。
- ・学校にスクールカウンセラーが来てくれて、興味津々だけど、みんな行くには至っていない。予約制だから利用しづらいし、もっと身近になるといいと思う。
- ・自分の学校は、校長先生のところに予約しないと、スクールカウンセラーには会えない。校長先生のところに行くのは、勇気がいる。
- ・虐待をされたことはないけど、ちょっとしたことですぐに怒られる。
- ・悪いことをしたら、ちゃんと理由をいってしかってほしい。殴られたから聞こう、という話にはならない。
- ・もし、殴られたら学校には行きたくなくなる。

【大切だと思うこと】規則正しい生活リズムで日常生活を送ること

(理由) 生活リズムは基本の基本だから。

◇意見交換の主な内容

- ・大人が遅くまで起きているからといって、子どももそれに合わせて深夜まで起きていて、次の日にだるい、というのはよくない。
- ・子どもは寝る時間が体で決まっているはずだから、大人がそれを分かってあげて、もう寝なさい、と言ってもらうことが大切。
- ・親からは、もう寝なさい、と言われるけど、自分の部屋でこっそりテレビをみてしまっている。友だちもみているのに、自分がみていないと遅れているような気がしてイヤだ。

【大切だと思うこと】頼りになる人がいること

(理由) 自分は守られているんだと自覚できると、子どもは安心できるので。

◇意見交換の主な内容

- ・子どもが、自分が守られているとはっきり分かるくらい、頼りになる人がいることが大切。

【大切だと思うこと】住居を理不尽な理由で奪われないこと

(理由) 自分たちに関係のないところで住居を奪われるのはイヤだ。子どもがいたら、住居は守ってほしいため。

【大切だと思うこと】命が守られること

(理由) 命が守られると、安心して生きていけるので。

<テーマ④. 意見を表明したり、参加するために必要なことは何だろう? >

【大切だと思うこと】参加するときに、大人が理解してくれること

【大切だと思うこと】意見をいうときに、大人や他人から束縛されないこと

(理由) 大人が、子どもが何かに参加したいときに、その理由を聞かないでダメだと言うのはよくないため。

(理由) 子どもが言いたいことがあるときは、大人や他人がきちんと聞くことが大切。

◇意見交換の主な内容

- ・学校の演奏会で、やりたい楽器をやらせてくれなかったことがある。練習してできるようになったのに。
- ・大人が子どもにしてくれる「理解」のなかには、「言ったことを分かってもらえる」、というのがあるけれど、送り迎えなど「手を貸してくれる」という側面もあると思う。例えば、塾に行きたいなら行ってもいいよ、だけではなく、塾まで送ってくれる、というような理解もある。

【大切だと思うこと】自分の意見を聞いてもらえて、それが受け入れられるときもそうではないときも説明してもらえなこと

【大切だと思うこと】自分の意見を表明することができ、表明した意見は尊重されること

(理由) 子どもの意見は、正しいときもそうではないときも、きちんと説明してもらえることが大事だと思うから。

(理由) 自分の意見を自分の中だけに止めておいたらストレスになってしまうから。

(理由) 発言した意見が尊重されなかったら、誰も意見を言わなくなってしまうので。

◇意見交換の主な内容

- ・意見を言うことは大切だけど、全部聞いてもらえたらつまらない。
- ・大人が、まだ子どもだから違うよ、ときちんと説明してくれたほうがよい。
- ・意見を発表しても、それが受け入れられなくなったら、自信がもてなくなる。
- ・自分の考えをきちんと発表したほうが、受け入れられる場合も受け入れられない場合も、公平な気持ちになれる。

- ・いつでも意見を言えるが、尊重はされていない。「意見を言う」というよりは、「尊重してもらえる」という方が大切だと思う。
- ・自分の親は、ほとんど自分がやりたいことを分かってくれて、認めてくれる環境にあるが、そういう子ばかりではないので、みんな認めてもらえるようになればいいと思う。
- ・自分ができていることでも、親は思ってくれない。なぜ、意見を受け入れてくれないのか教えてほしい。
- ・「我がまま」なことを言うのはダメだけど、どこまでが「我がまま」になるのか、示してほしい。
- ・「自分の意見を受け入れてほしい」という思いと、「これを言ったら我がままかな」というラインが難しい。
- ・甘えて許されることもある。我がままと甘えの違いが分からない。

【大切だと思うこと】自分のやりたいことは自分でやれること

【大切だと思うこと】自分で自分のことを決めることができること

(理由) 自分の意見を自由に言い、自分のやりたいことをやることは、参加するために必要だから。

(理由) 自分で自分のよさを引き出して、大人にどんどん意見を言って受け入れられることが必要だから。

◇意見交換の主な内容

- ・自分のお小遣いは、自分で責任を持つから、自由に使わせてほしい。
- ・何かに参加したいときに、時間がたてば、その参加を許してくれることもある。
- ・あまり興味がないことでも、やりなさい、やりなさい、としつこく言われることがある。勝手に親に申し込まれたときもある。
- ・自分のやりたいことを、好き勝手にやるのはダメだと思うけど、このくらいならやらせてくれてもいいのでは、と思えるときがある。

【大切だと思うこと】個性や他人との違いを認められ、ひとりの人間として尊重されること

(理由) 他の人と違う意見だから参加できない、ということになったら悲しいので。

◇意見交換の主な内容

- ・もし一人の意見であっても、「あなたは一人だから諦めなさい」と言われるのではなく、ちゃんと説明してほしい。
- ・多数決のようなもので、決められるのはイヤだ。みんなと同じでなくても認めてほしい。
- ・恥ずかしいからみんなと同じがいい、という人がいる。そのときは、先生が「目をつぶって多数決をする」と、言うときがある。

(2) 子どもの権利侵害からの救済

資料編では、権利侵害からの救済について考えたこと (p. 46) と、第6回、第7回子ども委員会でのグループディスカッションの内容 (p. 48) を紹介します。

■子どもの権利侵害からの救済について考えた項目

<相談相手や相談機関に求められる条件とは何だろうか？>

- ・理想の相談相手とは、とにかく話を聞いてもらえる人ならば誰でもいいと思う。(小学生)
- ・いつでも平常心でいられる、いつでも平等に物事を判断できるような人がいればいいのではないだろうか。(高校生)
- ・「相談すること」に恐怖心を持ったなら、その気持ちをなくしてから相談したい。「相談をしやすい相手」に相談をしたい。(小学生)
- ・ささいな事でも、相談しやすい相手であること。小さなことでも真摯に受け止め助言をくれること。(中学生)
- ・子どもが相談しようと思ったときに、いきおいで言えるようなふんいきがあるとよい。(中学生)
- ・友人関係の問題を相談する相手としては、あまり騒ぎたてないで真剣に話を聞いてくれる学校の先生がいてくれれば良い。学校の先生なら普段の友人関係を少しでもわかっているはずだから、内容的にも分かってもらえやすいし、身内じゃないから話しやすい。(中学生)
- ・学校の「教育相談週間」というのはとても助かる。「先生に相談するまでもないかな」と話さずにいたことも、身構えずに相談ができる。(中学生)
- ・「相談じゃなくても、お話をしたいときに利用していい。」というふうになれば、子どもはちょっとしたことでも利用できると思う。少しいじめを受けた場合、子どもが「こんな小さなことで相談していいのだろうか」と不安になるかもしれないので。(中学生)

<権利侵害を解決するために、まわりの大人に支援してほしいことは何だろうか？>

- ・子どもが助けを求めたら、一緒に考えてあげることが大切だと思う。(中学生)
- ・見守ってあげること。指図するのも良くないし、無関心なのも良くないと思う。(中学生)
- ・大人はあまり深入りはせず、後ろから見守っていてほしい、ということを感じたことがある。(小学生)
- ・むやみに口をはさまれるのは困るし、でもほったらかしにされるのは不安だから、その問題が起こるまでの過程をしっかりと知っておいてほしいし、でも、普段どおりに振るまってほしい。助言を求めたときはきちんと対応してほしい。(中学生)
- ・話をよく聞いてほしい。アドバイスをくれるだけでなく、たとえ自分の考えが間違っていたとしても、自分の気持ちを最後まできちんと聞いてほしい。(中学生)
- ・できる限り見守り、命に関わることがおきたとき、はじめて助けてほしい。こちらから助けをもとめたときは、小さいアドバイスをしてほしい。(中学生)
- ・子ども同士で解決しようとしている時には、まずどのような状態なのかをわかってほしい。手助けが必要な場合は、必要に応じて支援してほしい。(高校生)

- ・例えば、解決できなくてくじけそうになった時にはげましてあげたり、解決に乗り出す際に大人の手が必要時、大人の発言が必要な時は、子どもをサポートしてあげることなど。（小学生）
- ・アドバイスはしてほしいが、一から百まで手伝うのはやめてほしい。それから、問題が大きくならないようにしてほしい。また、自分たちで解決できる可能性がある場合は、完全に問題を解決してしまうことまではしないでほしい。（中学生）
- ・話し合うときに、1人対数人にならないようにする。解決しようとしているのに、逆に前よりひどくならないように、大人は注意深く子どもを見守ってほしい。（中学生）

＜いじめなどの権利侵害が起こらない環境づくりに必要なことは何だろう？＞

- ・子ども同士の問題の場合は、まず、子ども同士で権利侵害が起こらないように心がける。（中学生）
- ・みんなが仲良くするように心がける。（中学生）
- ・「思いやりの心」があれば、いじめは減っていくと思う。（中学生）
- ・いじめで言うと、いじめる側はなんらかの悩みや弱みなどの心の闇があるために、他人をいじめてしまうのだと思う。だから、互いに心を開き、通わせることのできる環境が理想的。例えば、できるだけ少人数で集団生活を送れば、それぞれの心に触れやすいし、時がたつとともに心を開けるようになれると思うし、いじめが存在しない環境になるのでは、と思う。ただ、普通の学校生活では1クラス約40人前後の集団だから心を開ける環境は難しい気がする。（中学生）
- ・だれとでも気軽に話ができるようにすること。そうすれば、困ったとき相談もできるし、権利侵害そのものを抑止することもある。（中学生）
- ・話し合いの場が常にあること。（中学生）
- ・一人の人間といっても、まだ子どもは子どもなので、権利侵害が起きないように、つねに大人が子どもを見れるというか、目の行き届く環境であってほしい。（高校生）
- ・月に1回程度、いじめ相談センターなどの人たちが、学校へ来ていじめの相談などの、自分の悩みを聞いてもらう。そして、その解決方法はないのか、そこから立ち直れるのか、などを言ってもらう。（小学生）
- ・幼いころから、いじめはいけないことだとしっかりと教え込む。同様に、いじめを受けた人がどんな気持ちになるのか教える。（中学生）

■第6回、第7回子ども委員会での議事結果概要

Aグループ

【権利侵害だと思うこと】

① やりたくないことをやらされること

・塾など、子どもが行きたくないことを、無理やり行かされる場合がある。

② 見たくないものを見せられる（聞きたくないことを聞かされる）こと

・インターネットで普通に危ないサイトに行くことができるのはどうかと思う。

・家の事情など、子どもにとっては聞きたくないことを聞かれることもある。

③ すべての人に等しい教育がされていないこと

・不法入国滞在者の子どもは、教育が受けられる環境になっていない。

④ 暴力、いじめ

・悪口を言われるなどのいじめがある。暴力を受けたこともある。

・体型のことで悪口を言われる場合がある。

【解決方法や相談相手についての意見交換】

※ Aグループでは、上記の各項目について、「大人からの権利侵害」「子どもからの権利侵害」「両方からの権利侵害」に分けたうえで、各項目ごとに解決方法などについての意見交換を行いました。

① やりたくないことをやらされることについて

・やりたくないことをやらされることについては、子どものほうから意思をはっきり言うしかないのではないか。大人とじっくり話をする時間があるのが大事だと思う。

・親も、子どもの適性をみて、言ってくれている場合があるのでは。

・その場合でも、「〇〇だからいい。悪い。」と、ちゃんと理由を言ってもらいたい。

・子どもの方も、頑張ってみることも大切なのではないか。

・権利侵害というのは、自分が頑張ってみてもできないことを言うのではないか。やりたくないから権利侵害だ、と言うのではなく、自分で頑張ってみても否定されたら権利侵害だ、というべき。ただ、「権利がある。」と言っても、それは権利にはならないのではないか。

② 見たくないものを見せられることについて

・どうやって、それを防げるかが重要。

・大人の意識が変わることが大切だと思う。子どもがいるところでは気をつけてほしい。

・実際に見てしまってショックを受けたときに、どういうふうにも、その状態から回復できるかが問題。

③ すべての人が等しい教育を受けることについて

・例は、不法滞在児童の子どもであるが、どのような人であっても、最低限の教育（足し算、引き算など）は保障されるべき。

・札幌のような大きい都市でつくる条例なのだから、このような基本的な問題が解決できるようになってほしい。

・条例のちからで解決ができるかどうか分からないが、大人を含めて、そういう社会や仕組みを考えていくことが大切。

④ いじめ、暴力について

- ・いじめや暴力は、子ども同士ではなかなか簡単には解決できないのではないかな。
- ・いじめがあることを先生が知ったとき、「チクッたな。」と探られたことがあり、つらかった。
- ・相談窓口の電話一覧は持っているけど、まわりで使ったという人を聞いたことはない。
- ・相談機関には、あまり話をしたくはないかもしれない。

【権利侵害を受けてしまって心が傷ついたときに取れる方法は何か】

【その方法を取ろうとしたときにぶつかる問題点は何か】

- ・開き直り、前向きになること。ただ、自分の気持ちを変えることは大変だし、自分で変わろうと思えるかどうか難しい、という問題がある。
- ・親がそばにいて、落ち着ける環境をつくること。ただ、親がそばにいない子や、親が怖くて権利侵害のことを話せない場合、親が権利侵害をしている場合は、難しい。
- ・親が、子どもを無理に塾に行かせているような場合、親と話し合うことが大切。ただ、話し合いのきっかけを子どもから作らなければならないが、これは難しい。
- ・親や友だち（親友）に相談する。ただ、友だちの場合、話が広まってしまうことがある。
- ・自分自身で考える。ただ、弱い人の場合、それをきっかけにひきこもりになる可能性がある。
- ・先生、友だち、相談窓口、親に相談する。ただ、先生に相談した場合、周りの生徒に逆恨みされる可能性がある。友だちは、自分のことを話したことによって離れていってしまわないかという心配がある。相談窓口は、曜日の制限があるし、身近ではない。親は、話せばいいけど話しぶらい。

【権利侵害を解決する方法について】

① 開き直って自分の解決方法を見つける

- ・開き直って自分自身を変えていく。
- ・いじめの問題は、いじめられている人が変わるだけでなく、いじている人も変わらなければ解決しない。

② 相談する

- ・相談相手として考えられるのは、親・兄弟・家族、先生・校長先生、友だち・先輩、相談窓口の人、専門家、市役所・区役所、カウンセラーなど
- ・相談しても、本当に親身になってくれるかどうか分からない。結局、自分自身で解決するしかない。
- ・話を聞いてもらえるだけで良い場合もある。
- ・問題の種類によって相談する相手も異なる。
- ・学校のことは先生に相談し、危険なインターネットサイトにつながってしまうことは親に相談する。
- ・問題をため込むと悩みが深くなってしまうので、親でも友だちでも誰でもいいので相談する。
- ・同じようないじめを受けている人に相談する。
- ・チャットで相談する。
- ・チャットの中には、危険なチャットもある。
- ・人生経験を積んでいる大人に相談する。
- ・大人に相談してもうまくいかないことがある。子ども同士で話をしても、「あいつが悪い」という話で終わってしまうと何もうまれない。

③ みんなで話し合う

- ・話し合うことでお互いに打ち解けて、問題が解決することもある。
- ・当事者と先生で三者面談をする方法もある。

④ 権利侵害をする相手と話をする

- ・権利侵害をする理由を問い詰める。
- ・いじめの理由をはっきり聞いたら、かえって傷つく場合もある。
- ・権利侵害の相手に直接話をすることができない場合は、相談にのってくれる大人を探したり、友だちと相談して団結する。

⑤ いじめが起きないようにする

- ・いじめがないのが一番

【相談することについて】

① 親に相談することについて

- ・まずは親に相談する。
- ・親に相談したとき、「相手に直接言えば良い」と言われたので「言いつらい」と答えたら、「それなら仕方ない」と言われてしまった。
- ・親に相談した結果、親が一方向的に相手に謝ったり、逆に相手の責任ばかりを追究したりして、話が複雑になることもある。
- ・親は近すぎると、親戚だと近すぎないし、遠すぎなくていいかもしれない。

② 先生に相談することについて

- ・学校での問題は、先生への相談は解決に結びつく可能性が高いと思う。
- ・忙しい先生もいる。

③ 友だちに相談することについて

- ・友だちへの相談は解決に結びつく可能性が低い。
- ・友だちにただ話を聞いてもらうだけでも充分。
- ・誰に相談するべきなのか、ということをや友だちに相談する。
- ・頭のいい、大人っぽい友だちに相談する。
- ・友だちは、普段から話をしている相手だし、先生が知らない部分も知っているのだから、友だちに相談して解決方法を教えてもらえれば理想的。

④ 相談窓口で相談することについて

- ・学校で相談窓口を紹介したカードが配られたが、電話をかけるのには勇気がいる。勇気を出して電話をかけたら話し中だった。
- ・電話相談を受けるのが、どのような人なのか、専門家なのかどうかなどが分からないし、自分のことも相手には分かってもらえない。
- ・電話相談窓口は、曜日に限られているし電話料金がかかる。

【理想の相談相手について】

理想の相談相手は相談相手（相談する相手がいることが大事）

Bグループ

【権利侵害だと思ふこと】

① いじめ

・いじめの具体例として

虫をくっつける、ランドセルにゴミを入れる、くつをかくす、悪口をいう（キモイ）、無視する など

② 不審者

・不審者によって、子どもの行動が妨げられる。

・学校がえりに、ランドセルを引っ張られた。友だちが引っ張り返してくれて逃げる事ができた。

③ 不登校

・転校生で学校に来ることができない人がいる。

④ 虐待について

・ニュースで見た虐待の事件では、虐待を受けた子どもは、親に直接「やめて」とは言えないので、友だちに相談していた。

・すごく辛い思いをする場合は、悩み相談に電話をする。

・子どもの意見と、親の意見が食い違ったときに、親が「親子の縁を切る」と言って小さい子どもを外に放り出したら、それは虐待になるのではないか。

【解決方法や相談相手についての意見交換】

※ Bグループでは、1人複数回答で権利侵害の具体例を出し合ったところ、全員が権利侵害の例として「いじめ」を挙げたため、「いじめ」を主なテーマにして話し合いました。

① いじめの問題点

・いじめをする子の親は、自分の子どもがいじめをしていることを知らない。

・いじめを受けている子の中には、うまく言い訳をして先生に見つからないようにする人がいる。先生の中にも原因を深く追及しない人がいる。

・いじめを受けた子と見られる（レッテルを貼られる）と、クラス以外の人からもいじめられるようになる。

② いじめの解決方法について

・自分の学校は、困ったことがあれば先生に相談する雰囲気があるので、いじめはないと思う。でも、「くつかくし」はある。

・いじめをする子に、いじめる理由を聞く。いじめられている子にささいな原因があるような場合は、理由を聞いて直せば解決する。

・小学校のとき、階段から突き落とされたりして、学校全体からいじめられている子がいた。そのときは学校全体の問題として、学活で話し合った。その子は、中学校になってからははいじめを受けていない。でも、「いじめられていた」というレッテルを貼られている。

・クラス以外の人からもいじめられているような場合、最初はいじめに加わっていてもだんだんかわいそうに思い始めて、相談にのってくれるようになる人が現れる。

・中心的にいじめをしている子ではなく、周りで加わっている人に、いじめの理由を手紙でこっそり聞くのも方法の一つ。

・いじめが始まる原因には、日直の順番がまわってきても仕事をしないと、先生にえこひいきされているとか、仕草やクセなどいろいろある。原因を聞いて、自分で直せる場合もあれば、自分では直せないことが原因の場合もある。それに、いじめられている人が無口な人の場合は、いじめをする子に直接理由を聞くことはなかなかできない。

- ・いじめられている人には、相談する勇気がない場合もある。先生や、周りの友だちが気付いて声をかけてあげればいい。
- ・先生に相談して、クラス全員で話し合えればいいと思う。
- ・先生は部外者だから、本当は子ども同士で解決できれば一番いい。
- ・先生によっては、いじめをしている子に「誰々から聞いたけど」と言ってしまって、先生に相談したことがばれてしまう。うまい先生は、いじめをしている子に「この前こんなことを見かけたんだけど」と言ってくれる。そうすれば相談したことはばれないし、いじめをしている子も「誰かに見られているかも」と意識するようになる。

③ 相談する相手

- ・自分の親
- ・先生
- ・友だち
- ・悩み相談の電話

【権利侵害を受けた本人では解決できないような問題は何か】

【本人では解決できない場合の解決方法は何か考えられるか】

- ・クラスの友だちに聞いてみたところ、本人で解決できないものはない、という答えだった。
- ・クラスの友だちに聞いてみたところ、2/3の人は、友だちに相談していじめの相手に話を聞く、という答えだった。本人では解決できない問題として、ノートにいたずら書きをされたり、ものを盗まれたり、くつに画びょうをいれられたりする問題がある、という意見が出た。
- ・クラスの友だちに聞いたところ、1/3くらいの人が、消極的な人を対象としたしたいじめは、本人では解決できない、という意見だった。

【相談することについて】

- ・相談する相手として考えられるのは、親、先生、友だち、スクールカウンセラー。となりのおばさんなど近所の大人も、親身に相談に乗ってくれると思う。
- ・虐待の場合は、親には相談できない。
- ・不審者の問題では警察官に相談する場合もあるが、いじめなどについては相談しても立件してはくれないので、相談相手にはならない。

【権利侵害（いじめ）の実態について】

- ・転校した先でいじめられたり、仲の良い友だちが転校していじめられるようになったり、転校をきっかけとしていじめを受け、それが原因で不登校になった人がいる。
- ・悪口を書いていた交換ノートが人に見られて、そこからいじめが始まる場合がある。
- ・できる人や積極的な人が、できない人や消極的な人をいじめることも多い。
- ・足が速いことや、勉強が得意なことを自慢することをきっかけとして、いじめを受けることもある。
- ・くつかくしは、探している姿が面白いので次々と人のくつをかくす、というふうにして流行することがある。
- ・いじめが始まると、それまで友だちだと思っていた人がいじめる側に同調するようになることがある。
- ・いじめのリーダーがいて、今日は誰のくつをかくすか、というようなことを決めていている場合がある。
- ・いじめのリーダーは強い存在で、逆らうことが難しい。

【権利侵害を解決する方法について】

① いじめを受けても気にしないこと

- ・いじめを受けた本人が気にしていない場合、「やめよう」となる場合と、「もっとやれ」となる場合がある。
- ・本人が気にしていないと、「むかつくからもっとやれ」となる場合の方が多い。

② 自分でいじめの芽をつむ（いじめられている人が強い場合）

- ・いじめがエスカレートしたら、自分の身を守るために、実力を行使してでもいじめをやめさせる。

③ 助けてくれる人を探す（いじめられている人が弱い場合）

- ・いじめる側が強い存在の場合は、いじめられる方も、強い人を味方につけて対抗する。
- ・いじている人も、いじているのがクラスで一人になってしまえば、いじめをやめる。
- ・いじめが深刻になれば、何かモノをあげてでも仲間になってもらう方がよい。
- ・消極的な人の場合は、いじめに対抗するために仲間をつくること自体が難しい。

④ 消極的な人がいじめられている場合、本人が何もしゃべらないため、解決のしようがない

- ・いじめられている本人が何も話さないで、本人がどう思っているのかさえも分からない。
- ・自分の学校でも、以前はよく話をする人だったのに、あることをきっかけに人と話さなくなり、仲間や友だちがどんどん減っていき、いじめが解決に向かっていかない、ということがある。

⑤ 普段の様子と違うことに先生や周りの人が気付くこと

- ・権利侵害があることを先生が知ったときの対応が大事。実際は誰かからいじめのことを聞いたのだとしても、「誰々から聞いたけど…」と言ってはだめ。「この前、先生が見かけたんだけど…」というような言い方をしないといけない。
- ・積極的な人がいじめられている場合、先生はいじめに気が付きにくいかもしれない。
- ・積極的な人はどちらかと言うと、いじめる側になることが多く、自分がいじめられるとは思っていないので、いじめられても本人が気付かないかいないので先生も気がつかない、ということかもしれない。
- ・積極的な人は、いじめられても気にしないのかもしれない。
- ・表面的には本人がいじめを気にしていないように見える場合でも、内心では気にしていることもあるのではないかと。そうだとしたら、それはとても問題。

⑥ いじめを解決する土台は友だち

- ・友だちは、相談に乗ってくれたり、いじめがあることに気が付いてくれたり、頼ったりできる存在。

C グループ

【権利侵害だと思うこと】

① えこひいき・プライバシーの侵害（大人から）

- ・学校で、えこひいきのように感じるできごとがあった。
- ・そのときに、友達関係をみんなのいる前で聞かれたから、プライバシーの侵害のようにも感じた。

② 意見表明の侵害（大人から）

- ・家でも学校でもあると思うけど、「黙っていなさい。」と言われることなどは、権利侵害だと思う。

③ 差別（子ども同士）

- ・体型のことで、あだ名をつけられて呼ばれることがある。

④ いじめ（子ども同士）

- ・いじめがなくなるらない。

【解決方法や相談相手についての意見交換】

※ C グループでは、上記4項目を、「大人からの権利侵害①、②」「子どもからの権利侵害③、④」に分けて、それぞれについて解決方法や相談相手についての意見交換を行いました。

◆大人からの権利侵害についての対応方法

- ・自分が強くなって、片っ端から反論するのがいい。
- ・第三者の意見が必要だと思う。えこひいきのようなものであれば、その先生に言ってくれる人がいれば助かる。
- ・校長先生や、教育委員会に言ってみる。
- ・第三者の先生に話すのも、少し不安。我慢したほうがいいのでは、と言われそう。
- ・学校にカウンセラーがいるので、そこに相談する。カウンセラーのところには、はじめは行きづらいと思っていたが、人のあまりいないところに部屋があるし、誰がカウンセラーに相談したかも分からないようになっているから、とても行きやすいようだ。
- ・自分の学校にはカウンセラーはいないけど、やはり行きづらいと思うかもしれない。チャイルドラインやコールセンターのような電話相談を使うのもいいと思う。
- ・自分の知らない人に相談するのは、少し抵抗がある。
- ・自分にとって一番身近な人は親だから、親に相談する。親だと、いつでも何時間でも話すことができる。

◆子どもからの権利侵害についての対応方法

- ・やはり、自分が強くなって、抵抗すること。イヤならイヤと言うべき。
- ・それが言えないからつらいと思う。強くなるには、どうしたらいいのだろうか。
- ・手に負えそうなら、まずは子ども同士で解決したい。それができない場合は、自分の担任の先生に相談したい。
- ・一人でもいいから、すごく仲のよい友だちがいるといい。そういう友だちがいると、学校にいきやすい。
- ・いじめや嫌がらせなどは、学校で犯人をみつけてほしい。それで解決するというにはならないと思うけど。
- ・犯人探しはいいのだろうか。それをやっている人がどういう理由があるか分からないし。
- ・自分は、相談するなら、家族。学校だと、広まる可能性が心配。親なら、聞いてくれるだけかもしれないけど、解決方法を教えてくれるかもしれない。チャイルドラインなどに行く前のささいなことでも、親なら聞いてくれると思う。

【自分自身で解決できない場合の解決は何か】

【子どもにとって身近な相談相手とは誰か】

【相談しても解決できない場合の解決方法は何か考えられるか】

- ・クラスの人に聞いてみたところ、男子の全員、女子のほとんどが、自分で解決しようとする、という意見だった。
- ・自分で解決できない場合、きょうだいや親など家族に相談したりする。
- ・親に相談する。友だちは学校にいる時間に限られるけど、親となら永遠にしゃべることができる。
- ・親に話すと気が楽になると思う。
- ・友だちに相談する。家族は色々なことを聞かれそうだけど、友だちはほかの話も聞いてくれるので良い。

【相談することについて】

① 相談相手について

- ・少し年上の人だと話しやすい。大人ではなく、年上の子どもがいい。
- ・相談機関の場合、年配の人ではなく、20代から30代の若い人がいい。
- ・自分は、相談機関の場合は、ベテランの人の方がいい。
- ・「それはしてはダメ」というように、指図する人はイヤだ。

② スクールカウンセラーや相談機関などについて

- ・相談専門の先生がやっているスクールカウンセラーよりも、好きな先生を選んで何でも相談できる教育相談の方が、人気がある。
- ・スクールカウンセラーは予約しなければならぬので行きにくい面があるが、教育相談は全員が受けることになっているので、それを機会に色々なことが話せて気楽になる。
- ・親や友だちに相談したくない時は、チャイルドラインやスクールカウンセラーに相談している人もいる。
- ・スクールカウンセラーは顔が見られるので話しにくいのではないかと。顔がわからないチャイルドラインなどの電話相談の方が、自分も相談相手も、お互いに顔が分からないので、完全に第三者として話を聞いてくれる、というメリットがあると思う。
- ・多くの人の場合、学校で解決できる悩みがほとんどなので、チャイルドラインなどについては考えたことがないし、身近に感じないと思う。

【権利侵害を解決する方法について】

① いじめをした人が誰なのかを知らせることについて

- ・ウラでこっそりやる子ども同士のいじめの場合、誰がいじめをしていたのかわからないことがあるが、わかる方がいい。
- ・先生は誰がいじめをしていたのかわかると思うが、いじめをした人が誰なのか公表すると、いじめていた人が逆にいじめられる可能性があるため、いじめを受けていた人以外には知らせない方がいいと思う。

② いじめの解決に先生が関わることについて

- ・先生が、「みんなのためになるから」といって事情を聞くことがあるが、答えたくないことでも答えることが必要になり、イヤになることがある。
- ・先生に解決してもらおうよりも、交換ノートを使って友だちに気持ちを知らせてもらい、解決してもらおうなど、友だち同士で解決する方がいいと思う。
- ・いじめは先生に話をしても解決するとは思えないことがある。問題の種類によって、解決方法は違うと思う。
- ・ささいなことでも先生に言う人はあまり好かれないと思う。

③ いじめのない環境をつくることについて

- ・いじめがなくなる環境をつくるためには、大人も子どもも、「いじめはダメだ」ということがわかるようになる努力をすることが必要。
- ・自分のクラスでは、「何でも先生に言ったりしない」ということをルールにしている。いじめの問題に先生がすぐに入るのではなく、いじめをしている人に直接話をすればいじめをやめると思う。
- ・「正義の味方」のような人（子ども）が学校にいるといいと思う。いじめを始めようというふうになった時に、絶対にいじめに賛成しないことによって、先生もいじめに気がつくのではないだろうか。
- ・先生が、学校はいじめがダメなところだ、という感覚を、もっと子どもに植えつけることが大事ではないだろうか。
- ・子どもの権利条例の内容にも、学校の先生はたたくなどの体罰をしてはいけない、ということが盛り込むことが検討されているようだが、「先生は子どもに体罰をしてはいけない」ということが、「先生は子どもを怒ってはいけない」ということになってしまっているのではないか。基本的に先生は怒っていいと思う。
- ・甘やかさないで必要なときに先生からは怒ってほしい。自分が人を傷つけていることを分かることが必要だと思う。
- ・体罰は必要以上にやるべきではないが、本当にひどいことが起これば、やることも仕方がないかもしれない。
- ・体罰されたらやめる、自分が痛い目にあっただからやめる、というのは根本的な解決にはならない。環境が変われば同じことが起きる可能性がある。体罰はやるべきではない。

④ いじめを予防するために必要なことについて

- ・子どもが、悪いことが何かということを知覚することが大事。子どもが、そう自覚できるように、まわりが促すような取組が必要だと思う。
- ・先生には、子どものことをしっかりと見てほしい。そうすることで、小さなことにも気がつくと思う。「見られている」と思うことによって、いじめをやめようと思うことがあるのではないか。
- ・友だちをたくさんつくることが必要だと思う。